

平成 28 年 第 4 回 日本救急医学会 男女共同参画推進特別委員会 議事録

日時：平成 28 年 10 月 20 日（木）10:00～12:00

場所：日本救急医学会事務所

出席：

畝本 恭子（委員長）、田中 裕（担当理事）、阿南 英明、岡田 昌彦、木田 真紀、
木田 佳子、長谷 敦子、並木 淳、並木 みずほ、矢口 有乃

WEB 出席：

小澤 昌子、本多 ゆみえ

欠席：

木村 昭夫、角 由佳

1. 議事録確認
2. 第 44 回日本救急医学会総会・学術集会 委員会企画パネルディスカッション 11 の進捗状況（並木 淳 委員、矢口有乃 委員）
 - 各演者とのメール打ち合わせ
各学会の基本情報（専門医数、評議員数、男女比、取り組みの具体例など）
事前にドラフトの発表原稿を司会まで送っていただく など
 - 各演者の抄録紹介
 - 発表順 林宏之先生の基調講演、救急医学会（阿南先生）
 - パネルディスカッションの内容：救急医学会の男女共同参画への取り組みが始まって
 - 学会のタイムテーブル、指導医セミナー対象の確認
 - 報道関係： プレスカンファレンスへの出席（10/26）
3. 第 44 回総会での‘男性も入れる女性医師ラウンジ’の打ち合わせ
 - ラウンジ担当者の確認
 - 女性医師スライドの追加募集：各施設で個別にも依頼
 - ラウンジでのミニレクチャー（1 日目：木田佳子先生、2 日目：那須道高先生）
のアナウンス（救急医を目指す君へのサイトとラウンジのチラシに掲載、会員メール）
 - ラウンジ来訪者アンケート
4. 今後の活動について
 - 男女共同参画推進特別委員会としての継続的な活動案
 - 学生・研修医部会とはタスクフォースを通してコラボレーションしている。学生を対象にした夏のセミナーで、当委員会からの推薦で女性医師のおひとりに講演し

ていただいた。

- 文科省もキャリア教育を推進している。今までのスライドがあるので、名前を抜いて提示できるようにしては→救急医をめざす君へ、で少しはキャリアプランが掲載されている。
- これからの男女共同参画は、教育が大切。たとえば、男子は子供がうまれたら、嫁を手伝うんだよ、男女で協力して子育てするんだよ、などというところから。
- それで職場が破綻するならば、職場はうまくいっていない証拠であり、どのような対応をするのかが問題。
- 脳外科学会など、指導医の更新要件として指導医セミナーを受講するようになっている（eラーニングでもOK）。男女共同参画をそのテーマの一つとする。
- 20～40歳代の救急離れに関するワークショップを救急医会主催で開催する。前半は学会政府がのぞむもの、第2部は救急離れの原因は何なのか、全国の救命センター長あてと若手のコラボレーションで開催する。
- 男女参画のワークショップやパネルディスカッションの参加を指導医の更新の要件にする。すぐには無理。
- 他学会機関との共同開催は無理。
- 地方会単位で同じテーマでやっていく。継続していくには男女参画委員会主催で開催した方が、均一性がとれる。
 - セッションのひとつとしてお願いするのか（各会長主導）
 - 委員会主催のワークショップなどを取り入れていただくか（委員会主導）：この方が、各地方会間でばらつかず、統一できる。
 - 代表理事名と委員会名で各地方会にお願いすることは可能。